



けすぞう新聞

2018年11月発行
NO.10,11合併号
播磨町消防団女性分団

拡大版

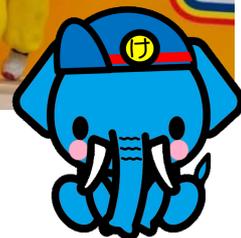
「みんなのまちはみんなで守ろう」

第32回防災のつどい—防災フェスタ2018—

2018年11月4日、加古川市の商業施設「ニッケパークタウン」(加古川町寺家町)で開催された防災フェスタ2018に参加しました。免震体験や消火訓練、救助訓練体験など「からだで学ぶ」コーナーや、アルファ化米やパン、クッキーなどの非常食の試食など「食べて学ぶ」コーナーがあり、色々な方面から防災について学ぶことができるイベントでした。

《あらすじ》

ノラえもんとのおぶ太くん。みんなでタイムマシンに乗って、1995年1月17日阪神淡路大震災、2011年3月11日東日本大震災の現場にタイムスリップ！
自分も当事者になって「地震の時
どうすれば自分の命を守ることができるのか」を一緒に考えます。



阪神淡路大震災時、播磨町では大きな被害はなくニュース映像を遠くの出来事のように見つめておられたかもしれません。生まれていない、記憶にない方もたくさんいらっしゃるでしょう。しかし「絶対に大丈夫」な地域は世界中どこにもありません。思いがけない災害にあったとき、慌てず適切な行動ができるよう、いま一度考えてみる機会として下さい。

～今こそ一致団結 女性消防団！～ 全国女性消防団員活性化大会

第24回全国女性消防団員活性化 滋賀大会

2018年11月9日、滋賀県大津市「ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)」で開催された全国女性消防団員活性化大会に9名(途中参加1名含)が参加しました。

全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて、連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的としています。

「母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信！
～今こそ一致団結女性消防団！～」を大会テーマにウカルちゃんアリーナには3000名を超える参加者が集いました。残念ながら今回は播磨町消防団女性分団の発表は叶いませんでしたが、活動事例発表5団体、防火防災啓発劇4団体、活動紹介37団体を実際に目にする事ができ、とても有意義な一日となりました。



活動紹介コーナー

設営のため、前日早朝から現地へ向かいました。限られたスペースに余すことなく、活動紹介展示をしました。



岐阜県多治見市消防団の活動事例発表では、オリジナルソングとダンスが披露されました。振り付けに合わせて手足を動かして、会場が一体になる内容でした。



活動事例発表、防火防災啓発劇と並行して活動紹介の展示が行われていたので、どこの団体も合間を縫って展示を見学していました。

私たちも交代で展示場所に向かいパンフレットを配りながら活動の紹介をしました。

表面に写真付きで啓発劇のあらすじと見どころ、裏面にけすぞう新聞数号分をまとめて掲載したパンフレットは閉会を待たずして配り終わりました。

次回は情報交流会でも配ることができるよう部数調整が必要です。



けすぞうくんは「前面が寂しい」前日の夜、ホテルで作りました。

熱く語る佐々木さん→

富山県富山市消防団の防火防災啓発劇発表では、地震の時に役立つ情報だけではなく、地元の特産品や観光もアピールされた内容に感心しました。

どの団体も個性と工夫を凝らした発表と劇で非常に参考になりました。また、広い会場で大勢の方に分かりやすく伝える方法についても考えさせられる内容でした。



びわ湖プリンスホテルに会場を移し、情報交流会にも参加させて頂きました。大会用に準備したオリジナル名刺をたくさんの団体と交換し、情報も交換することができました。

活動紹介にあるように「明るく楽しく無理なく」自分の得意な分野を自分のできる範囲で、続けていきたいと思います。一人ひとりの守備範囲は狭くても、みんな集まれば広範囲をカバーできるのです。

高知県須崎消防団、徳島県徳島市多家良分団、同市西富田分団、徳島県那賀町消防団、福岡県築上町消防団、宮崎県宮崎市消防団、宮崎県延岡市消防団、石川県羽咋市消防団、滋賀県甲賀市消防団、神奈川県茅ヶ崎市第22分団、(兵庫県)神戸市垂水消防団、同市長田消防団第1分団、同市東灘消防団、同市灘消防団、同市有馬消防団、小野市消防団、そして兵庫県消防協会、播磨町危機管理グループ、兵庫県企画県民部のみなさま、ありがとうございました。

次回大会は青森大会です。

